

初公開「光悦七種(異説)」

本阿弥光悦作 赤筒茶碗 銘「有明」



絵唐津 斜め十字文茶碗



織部好 緑口筋釜
大西淨久作



美濃伊賀 三足水指
有来新兵衛作

主な展示品
・樂家2代常慶造 香炉釉輪花皿
・樂道入(ノンコウ)造 黒楽茶碗 銘「出額」
・本阿弥光甫(空中)造 空中信楽 肩衝茶入
・角倉素庵筆 書状・灰屋紹益筆 書状ほか
光悦好みの作品9点展示(計50点)

織部と光悦

II



和歌色紙帖
本阿弥光悦筆
(黎明教会資料研修館蔵)



小倉山螺鈿蒔絵手文庫
本阿弥光悦作
(黎明教会資料研修館蔵)



光悦好 唐草透五徳
初代大西淨林作



空中信楽落蓋香合
本阿弥光甫(空中)作

琳派の創始者といわれる本阿弥光悦は、陶芸・書・蒔絵など芸術全般にその才能を遺憾なく発揮しました。一方で、茶の湯においても活躍し、数々の光悦好みの茶道具を残しています。それらには、茶の湯の師古田織部からの影響が色濃く表れています。

今回は、芸術家としての織部の継承者・光悦に注目し、新発見の本阿弥光悦作の「光悦七種(異説)」「光悦十作」「千家中興名物」赤筒茶碗 銘「有明」(平瀬家伝来)を初公開いたします。そのほか、孫の光甫による「空中信楽」や、光悦に楽茶碗の製作技法を传授した樂家2代常慶とその子3代道入(ノンコウ)の作品など50点展示いたします。この機会にぜひご鑑賞下さい。

2017年9月23日[土・祝]—2018年1月14日[日] 23 Sep 2017–14 Jan 2018

[開館時間] 9:30~17:30(入館は17:10まで) [休館日] 12/29~1/4

[入館料] 大人500円／大学生・高校生400円／中学生以下300円／団体(15人以上)100円引

[次回展観] 2018/1/20[土]~5/13[日] 織部はキリシタンか?—新発見 高山右近書状 初公開—

[後援] 京都府 京都市 京都新聞 (公財)京都文化交流コンベンションビューロー



一般財団法人



古田織部美術館

The Museum of Furuta Oribe

古田織部美術館

検索 click

[住所] 京都市北区上賀茂桜井町107-2 地下1階 [電話] 075-707-1800

[交通案内] 【公共交通機関をご利用の場合】市営地下鉄烏丸線北山駅下車4番出口右折徒歩3分

【お車でお越しの場合】JR京都駅より30分／京阪出町柳駅より10分／阪急河原町駅より20分

